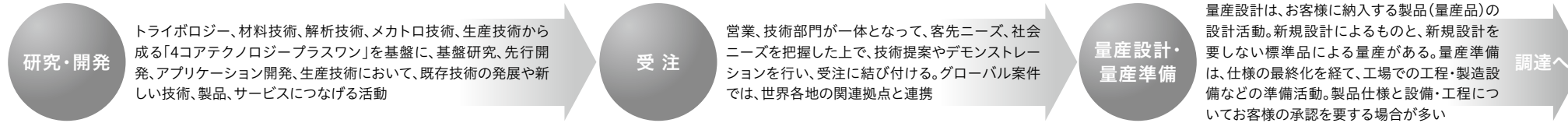
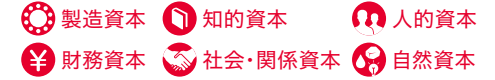


02 価値協創ストーリー NSKの事業活動とバリューチェーンの深化

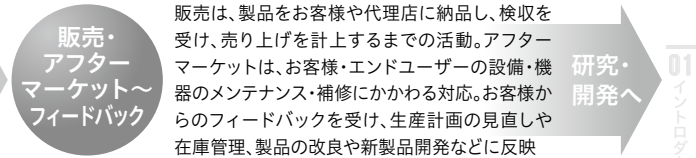
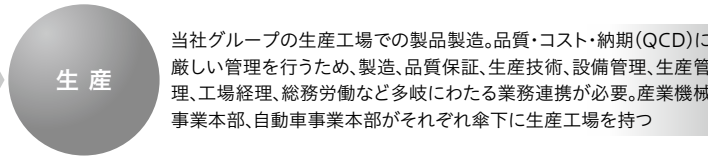
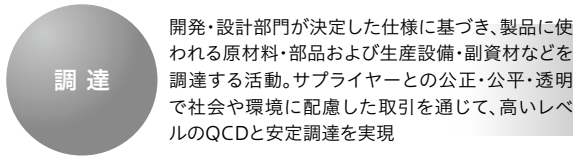
価値協創モデルで示したバリューチェーンの各活動は、NSKの持つ諸資本を効率的に活用しNSKならではの強みを活かすことで、NSKの事業活動を強固なものにしています。ここでは、各活動の概要と主要な資本、NSKの強み、またさらなる深化を目指すための課題について紹介します。



| 主要な資本 | 資本の活用 NSKの強みの創出 | 深化のための 取り組み課題 |
|---|--|---|
| 人的 技術人材 | <ul style="list-style-type: none"> ●NIT(NSK Institute of Technology) □用語集をはじめとした、技術人材の育成・強化のための体系的な教育プログラムと独自の教育機関 参考: NIT受講者数(FY2022)495名 ●技術人材の層の厚さ、知見・経験に基づく技術の蓄積をベースとした技術課題への高い対応力 | <ul style="list-style-type: none"> ●急速な技術変化に対するプロアクティブな研究開発テーマの設定と推進(電動化、自動化、IoT、環境など) ●4コアテクノロジープラスワンの伝承と進化のためのエンジニアの育成と確保 ▶P.32-33 |
| 知的 4コアテクノロジープラスワン、R&D拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ●R&D拠点のグローバル体制とネットワーク | <ul style="list-style-type: none"> ●デジタルツインの活用による開発・評価効率の向上 ▶P.33 ●開発段階から、品質を重視し、最適化する「プラスワン=生産技術」の向上 ●地球環境の保全・CO₂排出削減に貢献する技術、および製品の開発 ▶P.42-43 |
| 社会・関係 外部とのR&D体制 | <ul style="list-style-type: none"> ●お客様との密接な関係を基盤に、製品や技術にかかわるニーズをいち早く入手し、開発に取り組む体制 ●お客様・サプライヤー・外部研究機関などとの連携・共同開発による製品開発への反映(例:鋼材、グリース、モーター、ECUなど) | <ul style="list-style-type: none"> ●さらなるオープンイノベーションの活用 ▶P.33 |
| 財務 研究・開発を支える財務基盤 参考:技術関連費用(FY2022)308億円 | <ul style="list-style-type: none"> ●成長のための技術関連投資(対売上高3~4%) ●安定した財務基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ●既存製品の商品力強化、新商品・新事業の拡大 ▶P.26-27 |





| 主要な資本 | 資本の活用 NSKの強みの創出 | 深化のための 取り組み課題 |
|---|---|--|
| 製造 QCDDSM □用語集 における経験と実績 | <ul style="list-style-type: none"> ●グローバル展開力、グローバル供給力が様々な受注(新規開発品受注、改良品受注、既存品受注、標準品受注など)の獲得に貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ●グローバルな生産拠点を活用した最適地からの供給提案 ▶P.35 |
| 人的 営業人材 | <ul style="list-style-type: none"> ●グローバルアカウントマネジャー(GAM) □用語集とキーアカウントマネジャー(KAM) □用語集の連携による対応 | <ul style="list-style-type: none"> ●変化する客先ニーズや社会ニーズを踏まえ、既存技術、新規開発技術を活用した提案力のレベルアップ ▶P.26-27 ●信頼関係の維持と、従来の方法にとどまらない新しいスタイルでの価値・サービスの提案・提供 |
| 知的 技術提案力 | <ul style="list-style-type: none"> ●NSKのエンジニア、営業担当がお客様と密接なコミュニケーションを取れる関係とそれをサポートする社内体制 | |
| 社会・関係 お客様との強い信頼関係、NSKブランド力 | <ul style="list-style-type: none"> ●お客様に信頼される高品質と環境対応に注力 | |

| 主要な資本 | 資本の活用 NSKの強みの創出 | 深化のための 取り組み課題 |
|--------------------|--|--|
| 製造 量産設備の準備、設備投資 | <ul style="list-style-type: none"> ●製造設備の自社開発を行い、専用設備を持つことによる量産コストの低減 | <ul style="list-style-type: none"> ●量産設計の効率化とリードタイム削減を目指したコアアセット(資産化された差別化技術)の活用 ●量産品質の安定と作業負荷軽減を実現する設備、工程設定 |
| 財務 設計エンジニア | <ul style="list-style-type: none"> ●受注後、量産立ち上げまで一連の進捗管理を行う仕組みを持ち、各プロセスの節目ごとに仕様、品質、コストの精査・確認を実施(NPDS) □用語集 ▶P.46 | <ul style="list-style-type: none"> ●市場(エンドユーザー)の要求品質レベルの把握と製品への反映 ▶P.46 ●地球環境の保全・CO₂排出削減に貢献する量産設備の導入 ▶P.40-43 |
| 人的 各種関連技術の蓄積 | <ul style="list-style-type: none"> ●設計品質が製造品質に重要な影響を与えるため、要求される仕様を的確に把握し、製品設計に反映、商品開発、設計提案、案件管理を向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●AIやシミュレーションの活用による量産・評価効率の向上 |
| 知的 R&D拠点 | | |



| 主要な資本 | 資本の活用 NSKの強みの創出 | 深化のための 取り組み課題 |
|---|---|---|
|  <p>サプライヤーとの信頼関係</p> | <ul style="list-style-type: none"> 災害などの発生時に、サプライヤーの被害状況や問題を迅速に把握し、サプライヤーと連携して必要な対策が取れる体制を構築 持続可能な社会の実現に向けて、サプライチェーン全体でCSR活動を推進 | <ul style="list-style-type: none"> 安定調達(供給柔軟性の確保、サプライチェーンBCPの実効性強化) サプライチェーン全体でのCSRマネジメントのレベルアップをサポート ▶P.45 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーとの協業による継続的な改善活動や共同開発により、高いレベルのQCDを実現 | <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーパートナーフォリオの最適化(協業と競争原理の徹底) |
| <p>開発購買</p> | <ul style="list-style-type: none"> 設備の自社開発・生産、グループ内調達を可能とする体制 現地調達の拡大により為替変動に対する耐性を強化 | <ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン全体で環境負荷を低減(環境負荷物質の適正な管理、地球温暖化対策)する意識の徹底 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 設備の自社開発・生産、グループ内調達を可能とする体制 現地調達の拡大により為替変動に対する耐性を強化 | <ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン全体で環境負荷を低減(環境負荷物質の適正な管理、地球温暖化対策)する意識の徹底 |
| <p>バイヤースキル</p> | <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーBCP活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンBCPの実効性強化 |

| 主要な資本 | 資本の活用 NSKの強みの創出 | 深化のための 取り組み課題 |
|---|---|---|
|  <p>生産技能者</p> | <ul style="list-style-type: none"> 優れた設備開発力、また設備を長年使いこなす現場力、保全力 各工場で「生産革新(APS活動)」を進め、生産現場における改善の取り組みを継続的に実施 「NSKモノづくりセンター」を通じ、国内外の工場の技能者に対し、技能の伝承と技術力向上を目指した実習、トレーニングを実施 | <ul style="list-style-type: none"> モノづくりの伝承、進化のための人材の育成と確保、働きやすい職場づくり ▶P.34 |
|  <p>生産技術・ノウハウの蓄積</p> | <ul style="list-style-type: none"> 国内工場および海外工場の一部がマザー工場 ▶用語集 として海外工場の立ち上げや各種課題の対策などを支援する体制を整備 スマートファクトリー ▶用語集、次世代ラインの構築の取り組み 工場の設備管理の仕組み、設備保全スマート化の仕組み(PM-Ai)の開発 | <ul style="list-style-type: none"> 現場力とデジタル技術を組み合わせたNSKの新たなモノづくり <ul style="list-style-type: none"> 生産の超安定化(稼働状況の見える化、止まらないラインの構築) ▶P.34 生産技術・ノウハウの共有の仕組み(PM-Ai)のグローバル各工場への導入 |
|  <p>生産工場・設備</p> | <ul style="list-style-type: none"> 国内20、海外47の工場を有し、グローバルな需要にタイムリーに応えられる生産体制を持つ | <ul style="list-style-type: none"> 生産におけるBCPの実効性強化(建屋・設備の耐性強化、補完的供給力の向上) ▶P.49 |
|  <p>エネルギー資源と鉱物資源</p> | <ul style="list-style-type: none"> 省エネ・省資源を高める生産設備・技術の開発 | <ul style="list-style-type: none"> 地球環境の保全・CO₂排出削減にさらに貢献しうる生産設備、生産工程へのシフト ▶P.42-43 |
|  <p>サプライヤーと地域社会</p> | <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーおよび地域社会との良好で強固な関係を維持・強化 | |

| 主要な資本 | 資本の活用 NSKの強みの創出 | 深化のための 取り組み課題 |
|---|--|--|
|  <p>人的</p> <p>SPI(販売・生産・在庫)マネジメントを行う人材</p> | <ul style="list-style-type: none"> 高水準のSPIマネジメント ▶用語集 によって適正な在庫保有と厳格な在庫管理を実践 | <ul style="list-style-type: none"> 物流にかかる環境負荷低減に向けた取り組みの継続強化 需要変動への機敏な対応を実現するサプライチェーンの構築 |
|  <p>知的</p> <p>アフターマーケットにおける客先への技術提案力、サポート力</p> | <ul style="list-style-type: none"> 製品や技術サービスを通じてお客様へ付加価値を提供する活動(AIP: Asset Improvement Program)の推進 | <ul style="list-style-type: none"> AIP活動の取り組み・ノウハウの蓄積、グローバル展開によりさらなるサービス向上 |
|  <p>知的</p> <p>製品に関する調査・解析データ</p> | <ul style="list-style-type: none"> フィードバックをもとにした製品改良や新技術についての提案力 お客様、エンドユーザーの不具合・破損状況など、広範なデータを基づく高い解析能力と技術の蓄積 | <ul style="list-style-type: none"> 客先や市場のフィールドデータを活用した設計、開発 |
|  <p>社会関係</p> <p>アフターマーケットにおける流通チャンネル(顧客、代理店、販売店)</p> | <ul style="list-style-type: none"> グローバルな販売ネットワークで、迅速かつきめ細かな対応 代理店、販売店との強固な関係と広いネットワーク 他社製品の補修・メンテナンス需要にも対応、また定期メンテナンス以外の突発需要に対し、ネットワークを活かした即納対応に注力 | <ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度のさらなる向上(チャンネルマネジメントの強化、スペシャリスト育成) |

01 製品開発

02 価値協創ストーリー

03 中長期の成長戦略と資源配分

04 サステナビリティ

05 コーポレートガバナンス

06 データセキュリティ